

春はすぐそこまで来ております

この冬の尾花沢は、昨シーズンと同じように少ない雪で、助かった除雪費、片や期待はずれに終わった運動負荷へのもくろみと、除雪による関係業界の潤い等々。極端な天候の繰り返しと“まれに見る・・・”として括られる自然現象、人間には近づけない分野なのでしょうか？

一番短い日数の二月も終わり、夜明けもずいぶん早くなり、春はまさしくすぐ其処まで辿り着き、足踏みをしている感があります。



先月の半ば過ぎに、経験したことを書きましょう。もしすると、東京からの電車を利用して尾花沢でも、仕事が出来るのでは？ということです。金曜日と日曜日に東京でセミナーがあり、なか日の土曜日は、いつも代診に来てくれている仙台の長男が来られないということになっておりました。金曜日の朝、つばさで出発、セミナー終了後最終の列車で帰宅、土曜日は、午前中の外来と午後老健施設で回診をこなし、夜に入ってから上京、ホテルに投宿し、無事日曜日のセミナーをクリアし、尾花沢に帰宅出来ました。ある種の達成感是有りましたが、列車でのアルコールが疲れを増強したような思いも残りました。しかし、土曜日に来られない長男は、金曜日一日を代診として来てくれたのでした。忘れるところでした。

相も変わらず核実験やロケットの発射実験を、国民の生活を犠牲にして行っている国、新体制が構築出来ない中で、大統領としての行動を取れていない国、様々な形態などを観察出来る“今”ですが、暗殺、粛清が平然として行われる事は、知恵を発揮できる人類だからこそ、出来る事なのですよ。



この春は、花粉の飛散が多いといわれ、既に影響を受けておられる方々には、お見舞い申し上げます。早めの治療着手で、快適な毎日を送られる事をお勧めいたします。

もう一度、春はすぐそこまで来ております。重い上着を脱いで、外の空気を胸いっぱい吸い込み、春のステップを踏み出しましょう。